

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年8月6日
【四半期会計期間】	第89期第3四半期（自平成22年10月1日至平成22年12月31日）
【会社名】	東洋証券株式会社
【英訳名】	TOYO SECURITIES CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大畠勝彰
【本店の所在の場所】	東京都中央区八丁堀4丁目7番1号
【電話番号】	03(5117)1040(代表)
【事務連絡者氏名】	経営企画部長 松本誠
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区八丁堀4丁目7番1号
【電話番号】	03(5117)1040(代表)
【事務連絡者氏名】	経営企画部長 松本誠
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社大阪証券取引所 (大阪府大阪市中央区北浜1丁目8番16号) 松戸五香支店 (千葉県松戸市常盤平5丁目18番1号) 横浜支店 (神奈川県横浜市中区本町2丁目22番地) 名古屋支店 (愛知県名古屋市中区栄4丁目1番1号) 広島支店 (広島県広島市中区中町7番32号) 山口支店 (山口県山口市中市町1番10号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年2月10日に提出いたしました第89期第3四半期（自平成22年10月1日至平成22年12月31日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第4 提出会社の状況

4 業務の状況

(3) 自己資本規制比率

3【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第4【提出会社の状況】

4【業務の状況】

(3) 自己資本規制比率

(訂正前)

区分		前第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)
基本的項目(百万円) (A)		31,372	31,780
補完的項目	その他有価証券評価差額金 (評価益)等(百万円)	542	99
	金融商品取引責任準備金等 (百万円)	261	158
	一般貸倒引当金(百万円)	46	15
	計(百万円) (B)	849	274
控除資産(百万円) (C)		10,209	9,529
固定化されていない 自己資本(百万円) (A) + (B) - (C) (D)		22,012	22,525
リスク相当額	市場リスク相当額 (百万円)	1,030	789
	取引先リスク相当額 (百万円)	<u>537</u>	<u>428</u>
	基礎的リスク相当額 (百万円)	3,123	2,974
	計(百万円) (E)	<u>4,692</u>	<u>4,191</u>
自己資本規制比率(%) (D) / (E) × 100		<u>469.1</u>	<u>537.3</u>

(注) 市場リスク相当額の月末平均額は前第3四半期累計期間1,035百万円、当第3四半期累計期間853百万円、月末最大額は前第3四半期累計期間1,230百万円、当第3四半期累計期間988百万円、取引先リスク相当額の月末平均額は前第3四半期累計期間517百万円、当第3四半期累計期間541百万円、月末最大額は前第3四半期累計期間591百万円、当第3四半期累計期間625百万円であります。

(訂正後)

区分		前第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)
基本的項目(百万円) (A)		31,372	31,780
補完的項目	その他有価証券評価差額金 (評価益)等(百万円)	542	99
	金融商品取引責任準備金等 (百万円)	261	158
	一般貸倒引当金(百万円)	46	15
	計(百万円) (B)	849	274
控除資産(百万円) (C)		10,209	9,529
固定化されていない 自己資本(百万円) (A) + (B) - (C) (D)		22,012	22,525
リスク相当額	市場リスク相当額 (百万円)	1,030	789
	取引先リスク相当額 (百万円)	<u>627</u>	<u>507</u>
	基礎的リスク相当額 (百万円)	3,123	2,974
	計(百万円) (E)	<u>4,781</u>	<u>4,271</u>
自己資本規制比率(%) (D) / (E) × 100		<u>460.3</u>	<u>527.3</u>

(注) 市場リスク相当額の月末平均額は前第3四半期累計期間1,035百万円、当第3四半期累計期間853百万円、月末最大額は前第3四半期累計期間1,230百万円、当第3四半期累計期間988百万円、取引先リスク相当額の月末平均額は前第3四半期累計期間599百万円、当第3四半期累計期間625百万円、月末最大額は前第3四半期累計期間675百万円、当第3四半期累計期間721百万円であります。